



心をひとつに

暑い日が続いています。しっかり食べて睡眠と水分を十分にとり体調管理に気を付けましょう。

さて、明石市総合体育大会が軟式野球競技を皮切りに市内の各会場で本日より開催されます。夏が近づくこの時季になると、私は毎年思い出す出来事があります。市総体に出場する生徒の皆さんにエールの気持ちを込めて、今回はそれを紹介したいと思います。



これは、約12年前の兵庫県内のとある市での「市総体（軟式野球競技）」での出来事です。この試合に勝った方が、次の大きな大会（この地域で言うと「東播大会」にあたります）に進出できるという大一番！ 午後3時試合開始、蒸し暑く天候は曇り。O中学校の対戦相手は前評判が高い優勝候補の一角で大会屈指の好投手擁するS中学校。

試合前の練習では、ランニングも登録メンバー18人全員の統制がとれ、一系乱れぬ動き。

選手全員が大きな声を出し、この試合での勝利にける執念が感じられ、さすがに優勝候補の一角と評される雰囲気。一方のO中学校は、S中学校の闘志みなぎる雰囲気いつもの明るさも影を潜め、かなり緊張気味。大一番を前に動きも硬く、ランニングの歩調も足がバラバラ……。試合前の勝利予想も圧倒的な強さで勝ち上がってきたS中学校が一方向的にO中学校に勝利するのではないかという評価が大半を占めていました。ところが、試合開始前の大方の予想に反して戦力的に劣るO中学校が大善戦。

通常の7回を終了して0対0。延長戦（2回）に入るもお互いに一步も譲らず無得点。

試合開始から3時間以上経過。あたりが薄く暗くなる中、大会規定に則り、早期に決着をつけるため、アウトカウントや走者を設定して、攻撃と守備を交互に行うタイブレークに突入。そこで、相手より1点でも多く取ったチームが勝利し、次の大会に進出する権利を手に入れます。

すると、O中学校が守備につこうと選手がグラウンドに飛び出した時、雨が降り始めました。

選手のユニフォームにも雨がしみこみ、グラウンドが徐々にぬかるんできています。どんどん雨脚が強くなります。守備をしているO中学校の生徒のユニフォームと帽子は、汗と雨でずぶ濡れです。O中学校のピンチで選手に声を掛けるためにベンチからグラウンドに出た監督は、選手を激励後ベンチに戻りながら自軍の観客席に目を移します。すると、ある光景が監督の目に飛び込んできます。それは傘も指さずに、ずぶ濡れになりながら、金網越しに大声で応援しているO中学校の控え選手たちの姿でした。

「試合に出られなかった控え選手たちも同じ気持ちで戦ってくれていたのだ」……。

O中学校の野球部は、普段の練習等ではお世辞にもチームワークがあるとは言えませんでした。

でも、この試合では選手全員、監督の心が一つになった瞬間でした。実は、その監督は私です。

生徒の皆さんには、健康管理の観点から同じことをしなさいとは絶対に言いません。この市総体では、試合に出場する選手は今までお世話になった方や応援してくれる仲間の気持ちを胸に秘め、この瞬間を全力で戦って欲しいと思います。また、応援にまわる生徒たちは全力で選手たちを応援して欲しいと思います。チーム全体で「心をひとつ」にして戦い、この大会が「最高の青春の1ページ」になることを校長として願っています。